

2. 令和元年度中間報告 (令和元年5月末現在)

令和元年度は、恵那市では第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の2年目となります。平成28年3月より介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続出来るように、地域包括ケアシステムの深化に向け地域支援事業を推進します。

(資料：令和元年度地域支援事業一覧)

地域支援事業の実施

〔1〕 介護予防・日常生活支援総合事業 (総合事業)

介護予防・生活支援サービス事業

事業種類	サービス名	事業所	単価
従前の訪問介護	各事業所訪問型サービス	介護保険事業所	現行とおり
訪問型サービスA	すこやかヘルパー	シルバー人材センター	1,200円/回
訪問型サービスC	すこやかお口訪問	歯科衛生士	4,000円/回
	すこやか食事訪問	岐阜県栄養士会	1回目 3,600円 2回目 2,400円
	食生活エーナ訪問	恵那市食生活改善連絡協議会	1,000円/回
従前の通所介護	各事業所通所型サービス	介護保険事業所	現行とおり
通所型サービスA 通所型サービスA	すこやかデイサービス	山岡デイサービス センターゆとり いきいき教室	3,000円/回
		「結い」いきいき教室	
		社協いきいき教室恵那	
		社協いきいき教室岩村	
		社協いきいき教室明智	
		社協いきいき教室上矢作	
		社協いきいき教室串原	
通所型サービスB	お出かけエーナ	NPO法人まんさく	2,500円/回
		みさと愛の会	
		まめくら	
その他の 生活支援サービス	お元気見守り 食事サービス	法人・任意団体	200円/回

事業種類	マネジメント類型	単価
地域包括支援センター 居宅介護支援事業所（委託）	ケアマネジメント A	4,300 円/人
	ケアマネジメント B	2,090 円/人
	ケアマネジメント C	2,090 円/人

事業名	事業内容	見込み		実績
訪問型サービス	掃除、洗濯等の日常生活上の支援	訪問介護相当	1,082 人	196 人
		サービス A	660 人	111 人
		サービス C	10 人	0 人
通所型サービス	機能訓練や集いの場など日常生活上の支援	通所介護相当	2,283 人	373 人
		サービス A	2,352 人	379 人
		サービス B	1,080 人	128 人
その他の生活支援サービス	栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守り	お元気見守り食事サービス(配食)	470 人	63 人
介護予防ケアマネジメント	総合事業によるサービスを適切に提供するためのケアマネジメント		5,700 件	460 件

一般介護予防事業

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の集いの場を充実させ人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような地域作りを目指していきます。要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目的とします。

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防教室等参加者数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	18,000	18,000	18,000
実績数値（人）	19,274	—	—

①介護予防事業対象者把握事業（地域の実情に応じて収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動へ繋がります）

事業名	実施目標	事業内容
チェックリスト活用把握事業	随時	何らかの支援を要する者の把握方法として、地域の民生委員等と地域活動予防活動支援事業等の支援者からの情報収集を行い、基本チェックリストを実施
		実績 4月8人、5月7人 合計15人
MCI 対象者把握事業 「頭の健康チェック」	実施人数 50人	認知症の前駆段階とされる軽度認知障害（MCI）のスクリーニングテストを実施 (チラシ)
		実績 4月1人、5月1人 合計2人

②介護予防普及啓発事業 (介護予防活動の普及・啓発を行ないます)

事業名	実施目標	事業内容
健康教室・健康教育への講師派遣事業	—	壮健クラブやサロン活動、地域の高齢者の集いの場を対象として、介護予防事業講師を派遣し健康相談や健康教室を実施 (資料 いきいき健康教室7つのメニュー)
認知症講演会	参加者数 500人	認知症になっても住み慣れた地域で元気に暮らすことを目的とした講演会を開催 開催日程 12/8(日)かえでホール 13:00~15:30(予定)
健康体操・転倒予防教室 「健康シニア応援塾」	受講者数 30人	スポーツクラブアクトスに委託し体操教室を実施 (12回コースを2教室) (チラシ) 開催日程 4~7月/7~9月(予定)
〃 「プールウォーキング」	受講者数 175人	山岡健康増進センター楽歩に委託しプールを使用した教室を実施 (10回コースを7教室) 開催日程 4月~
〃 「筋トレを暮らしの中に」	受講者数 120人	山岡健康増進センター楽歩に委託し体操教室を実施 (6回コースを6教室) 開催日程 4月~
〃 「水中歩行運動教室」	受講者数 10人	医療法人社団 高陵会メディカルフィットネス famiriar に委託しプールを使用した教室を実施 前年度の特定健診結果にて「保健指導対象者」と判定された方が対象 (12回コースを1教室) (資料:介護保険新規申請疾患別認定者数) 開催日程 6~8月(予定)
脳の健康教室	受講者数 10人	「読み書き」「計算」などの学習を、教室サポーターとコミュニケーションを取りながらの学習療法 (チラシ) 開催日程 7~11月(予定)

③地域介護予防活動支援事業 (地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行います)

事業名	事業内容
はつらつサポーター養成講座	介護予防の基礎知識を学び、介護予防事業のお手伝いや、自ら地域で介護予防活動を行う方を養成(前期・後期) (チラシ) 開催日程 前期 6/6(木)~7/11(木) 受講者数 15名 後期 10/16(水)~11/20(水)
はつらつサポーター活動支援	住民運営の集いの場を充実させるため、新規の立ち上げに関わる相談等の支援。連絡会ではサポーター同士の情報交換を行なう 連絡会 5/21(火)19人・7/16(火)・11/19(火)・2/18(火) 実践発表会 9/24(火)

高齢者等ふれあい温泉施設利用助成事業	高齢者等の閉じこもり防止を目的に、市内温泉施設の利用1回300円の助成券4枚と団体利用券を発行
健幸ポイント事業	エーナ健幸ポイント事業の基本ポイント事業（市指定事業）に地域支援事業を対象として高齢者の外出と事業参加を啓発 《ポイント対象事業》 はつらつサポーター養成講座・筋トレを暮らしの中に・脳健康教室・プールウォーキング・健康シニア応援塾・認知症講演会・認知症サポーター養成講座

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

介護予防サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標（人）	40	40	40
実績数値（人）	32	—	—

④一般介護予防事業評価事業

（介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行なう一般介護予防事業の評価事業）

事業名	事業内容
プロセス評価（事業計画立案・実施過程）	各種事業実施に向けての目標を設定し、実施状況と結果を分析
アウトプット評価（事業の実施量）	介護予防事業の実施状況（回数・参加率）により評価
アウトカム評価（事業成果）	期待していた効果がでているかを確認（健康体操教室の前後評価等）

⑤地域リハビリテーション活動支援事業

（地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・介護・地域ケア会議、サービス担当者会議・住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を推進します）

事業名	実施目標	事業内容
はつらつ リーダー養成講座	10人	地域同士の協力体制を目的として地域の集いの場を運営する介護予防サポーターリーダーを養成(6回講座を予定) ----- 開催日程 未定

〔2〕指定介護予防支援事業

要支援1・2と認定された方で、訪問看護・福祉用具貸与等の介護予防サービス利用がある予防給付対象者のケアマネジメントを行ないます。作成業務の一部を居宅介護支援事業所に委託します。ケアプラン作成は令和元年5月末実績では月合計564件、その内地域包括支援センター作成が44件、委託が520件でした。

〔3〕 地域包括支援センター事業

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するために地域包括支援センターの運営事業を実施します。

事業名	事業内容
総合相談支援業務	地域から収集した情報（民生委員からの情報等）の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、必用に応じて基本チェックリストを活用し地域介護予防活動支援事業等又は各種制度へ繋ぐ ----- 相談件数 4月 210件
権利擁護業務	高齢者虐待や消費者被害などの相談に対し、介護保険事業所や専門機関と協力し、迅速に高齢者を権利侵害から守り、虐待問題や消費者被害の防止啓発に向けた取組みを実施 ----- 虐待通報件数 5件
包括的・継続的マネジメント支援業務	介護サービス事業所、医療機関、社会福祉協議会、民生委員、地域関係者との多職種連携に努め、高齢者を支える支援体制を構築。地域のケアマネジャー支援としては、個別ケースの相談に応じるとともに研修や勉強会を開催 ----- ケアマネ連絡会開催日 4/17(水)・5/15(水)

〔4〕 包括的支援事業

在宅医療・介護連携の推進

在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進することを目的とし、在宅医療・介護連携推進事業を推進します。本事業は以下8項目について取り組みを進めています。

事業名	事業内容
①地域の医療・介護の資源の把握	「在宅医療ガイドブック」の内容を更新するため、市内のサービス事業所等の情報収集を行ないホームページに掲載 (H27年度中津川市・恵那地域在宅医療連携推進事業)
②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	在宅医療・介護連携推進会議を定期開催し関係機関と協議 ----- 開催日程 8/9(金) 令和元年度 事業内容について検討 (情報提供書の検討方法など)
③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	提供体制構築に関する課題等について関係機関にアンケート調査を実施
④医療・介護関係者の情報共有の支援	情報共有シート（情報提供書・介護連携ノート等）の作成、使用方法の検討。関係事業所等の代表者にてチームを編成し検討予定
⑤医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携相談窓口を地域包括支援センターと恵那歯科医師会に設置し地域包括支援センターにコーディネーターを配置 ----- 関係機関への啓発を実施

⑥医療・介護関係者の研修	恵那歯科医師会に委託し研修を開催予定
	開催日程 秋以降
⑦地域住民への普及啓発	パンフレット等にて啓発を実施予定
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	在宅医療・介護連携推進研究会（東濃圏域）への参加
	開催日程 6/20（木）上記研究会へ出席

認知症施策の推進

2025（平成37年）年を目指し、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう「新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）」を推進します。

事業名	実施目標	事業内容
若年認知症の人と家族の支援	随時	若年認知症患者と家族への相談を個別の訪問等で認知症地域支援推進員が実施 パンフレット等を活用し市民に対する若年性認知症についての知識の普及を実施
認知症サポーター活動支援 （認知症ケア人材の育成）	実施回数 1回	認知症サポーター養成講座を修了者が復習も兼ねて学習する機会と、できる範囲で手助けを行う活動として模擬訓練（あんしん声掛け訓練）を実施
ささゆりカフェ （認知症カフェ）	開催回数 8回	不安や悩み事の相談、介護情報を得るためのカフェの開催をスターバックスコーヒーの協力により「認知症地域支援推進員」が中心となり、関係機関と連携し開催 開催日程 4/24（水）中央図書館 25名、5/21（火）木ポイント13人 7/23（木）恵那病院、9/11（水）中央図書館（予定） (チラシ)
認知症の方の家族のつどい	開催回数 4回	認知症の人を介護している家族を支える場として「認知症地域支援推進員」が中心となりつどいを開催 開催日程 6/27（木）岩村福祉センター 8/11 恵那市役所会議棟 (チラシ)
多職種連携事業 （事例検討会）	開催回数 4回	ファシリテーターを中心に、多職種の関係機関と様々な視点から事例を読み解き解決方法を検討
〃 （研修）	開催回数 2回	認知症の本人と家族を多職種で支援する体制構築と強化を目的に、市内の医療・福祉関係者、民生委員等を対象とした研修会を開催 開催日程 未定
認知症初期集中支援チーム	随時	複数の専門家が家族の訴えなどにより、認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、アセスメント、家族支援などへ包括的・集中的支援を実施（最長で6ヶ月）
認知症ケアパスの活用	随時	認知症の人の状態に合わせた適切なサービスの流れやケア内容を記載した冊子を相談時等に提示

生活支援サービス体制整備

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、高齢者の社会参加及び生活支援の充実に目的に生活支援体制整備事業を推進します。

種類	開催目標	実施内容
第1層 (市1ヶ所)	開催回数 2回	<ul style="list-style-type: none"> ○情報共有と連携 第2層協議体の意見・課題をまとめ内容を共有し連携を図る ○啓発活動 支え合い活動に関する地区別情報を集約した冊子を作成し、市民への啓発を実施 <hr/> 開催日程 7月、2月
第2層 (地域13ヶ所)	各地域 2回以上	令和元年度の各地域の目標に対する具体的な活動支援についての検討を継続実施 (計画・実行・評価・改善 (PDCA サイクル)) 各地域で随時開催中

地域ケア会議

事業名	開催目標	事業内容
地域ケア個別会議	随時	個別ケースの支援内容を検討する中で、個別の課題解決を行ない、検討を通して関係者間のネットワークを構築 <hr/> 合計4回
地域自治区ケア推進会議 (地域13ヶ所)	開催回数 2~3回	個別ケースの積み重ねから発見される地域課題と地域福祉懇談会等で抽出された地域課題の課題に向け整理・解決策の検討を地域の代表者と実施 (※第2層協議体と同会議とする)
市地域ケア推進会議	開催回数 1回	地域自治区ケア推進会議(第2層協議体)で検討された課題の共有と、政策的対応が必要となる課題等について市レベルで検討

〔5〕任意事業

事業名	事業内容
成年後見制度利用支援事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が成年後見制度の申立てにあたり、経済的な理由で申し立てができないことがないよう申立に要する費用や後見人などへの報酬助成を実施
介護相談員派遣事業	介護相談員を特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設に派遣し、サービス利用者の日常的な疑問、不安の解消を図るためサービス事業者との橋渡し役を実施
徘徊高齢者家族支援サービス事業	認知症高齢者の見守り体制の1つとして、位置探索端末機の貸し出しを実施

おしゃべりパートナー派遣事業	独居・日中独居等にて地域社会との関わりが少ない高齢者の話し相手として回想法の手法を用いた訪問事業を実施 (チラシ)
家族介護者支援事業	高齢者を介護している介護者が、一時的に介護から解放されて心身のリフレッシュを図り、介護者同士の交流を深める交流会を年1回開催
家族介護者教室	地域の高齢者を介護している家族を対象に在宅介護を支援するため、基礎的な介護方法の知識を学ぶ介護者教室等を開催
介護用品の購入助成事業	在宅で介護を必要とする高齢者の家族に対して、介護用品購入費用の一部を助成
認知症サポーター養成講座	認知症に対する地域での理解と早期対応の知識普及のために、地域住民、職域、学校、広域の団体などで「認知症サポーター養成講座」を随時開催 (チラシ)
高齢者見守り活動支援事業	高齢者の見守りに関する協定事業所との連携を図り、通報及び相談時には早期対応を実施し、年1回の事業所連絡会を開催
緊急通報システム整備事業	一人暮らしの高齢者が、自宅で急病や事故など救急の際、救急ボタンを押すことにより、消防署に直接通報できる機器を設置

地域の実情に応じ、市独自の発想や創意工夫した形態で実施します。

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より

認知症サポーター養成講座	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標(人)	6,200	6,700	7,200
実績数値(人)	5,822	—	—